

# 音声再生ソフト Windows Media® Player 10 を活用しよう

田中 武夫 Tanaka Takeo  
(山梨大学)

今回、私が紹介するのは、CD プレーヤー代わりに使える音声再生ソフト Windows Media® Player 10 (以下、WMP10) です。パソコンがインターネットと接続可能であれば、[次のサイトから WMP10 を無料ダウンロード](#)して使うことができます。

パソコンに詳しくない私でも、操作が簡単ですでお勧めです。現在、リスニングの授業で WMP10 を使っています。教科書付属のテープや CD がありますが、テープだと巻き戻しや早送りに時間がかかったり、CD だと頭出しに手間取ったりと不便なことが多かったので、この WMP10 を使ってみることにしました。使い勝手がよくテープや CD の諸問題も解決しました。

使用方法としては、再生したい CD をパソコンに挿入し、「取り込み」で取り込みたいファイル（音声テキストや曲）を指定して、パソコン内のライブラリーにファイルとして取り込みます。ファイルに情報を追加でき、自分の好きな順にしたり、自由にファイリングし直したりすることも可能です。ただし、パソコンの性能によっては、取り込みに時間がかかる可能性がありますので注意が必要です。もちろん、ファイルとして取り込まなくても、CD をパソコンに挿入したまま使用することもできます。しかし、ファイルとして取り込むと、以下に紹介する最初の 2 つの機能が可能になります。

WMP10 の特長は以下の通りです。第 1 に、再生速度の調節が可能であることです。スクリーン右下のボタンに、1.4 倍速、2 倍速、5 倍速があり、簡単に再生速度を変えることができます。逆に、メニューの再生ボタンから、再生速度を遅くすることも可能です。

第 2 に、複数の音声テキストを何度もリピートさせることができます。CD では、一つのセクショ



Windows, Windows Media および Windows ロゴは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ンをリピートさせることはできますが、WMP10 であれば、複数のファイルを選択し、選択したファイルを何度もリピートさせることができます。

第 3 に、音声テキストを好きな位置から再生することができます。テープや CD では、音声テキストの好きなところから再生したくても、なかなかストップできず、もどかしく感じるがよくあります。しかし、この WMP10 だと、下方にある位置スライダーと呼ばれるポインターで、ファイル中の好きな位置を指定すれば、そこからいつでもすぐに再生してくれます。他にも便利な機能がありそうですが、私が使いこなして利便性を感じているのは以上の機能です。

パソコンが相手ですから授業で使用する場合、次のような問題もあります。ノートパソコンには、教室に十分なだけの音量が出せるスピーカーがついていないため、アンプつきのスピーカーが必要になります。最近では安価な小型スピーカーが出回っています。また、音声ファイルを扱いますので、性能の良くないパソコンの場合、動作が遅い可能性も考えられます。本格的に活用する前に、いくつかの音声テキストで実際に試してみるとよいでしょう。

頻繁に音声テキストを扱う英語教師にとって、この WMP10 には利点が多いはずですが、リスニング指導で音声テキストを自動的に繰り返し何度も生徒に聞かせたい、発音指導などで短めの音声テキストをたくさん扱いたい、CD やテープのためのスペースが少なくパソコンの中に管理しておきたい、あるいは、授業外で、英語の音声ファイルを使って教師自身が自分のリスニング力を鍛えたい、などのときに、今回紹介した WMP10 はお勧めです。なお、言うまでもありませんが、著作権保護には十分気をつけてご活用下さい。